(19) 日本国特許庁 (JP)

⑩特許出願公開

⑩ 公開特許公報 (A)

昭56—144335

f) Int. Cl.³F 23 Q 2/16

F 23 Q 2/173

識別記号 101 102 庁内整理番号 6529-3K 6529-3K

6529-3K

❸公開 昭和56年(1981)11月10日

発明の数 2 審査請求 有

(全 3 頁)

②特

3 3

願 昭55-47653

22出

願 昭55(1980)4月11日

@発 明 者 北林誠一

上尾市大字小敷谷919-12

⑪出 願 人 株式会社丸一製作所

上尾市向山431-1

⑪出 願 人 北林誠一

上尾市大字小敷谷919-12

個代 理 人 弁理士 佐々木清隆 外2名

明細 書

1. 発明の名称

ガスライターの燃料供給装置およびその製造方法

2. 特許請求の範囲

1. 燃料槽上端に、上面に所要架さの取付凹穴を有するゴム等の軟質弾性材料よりなる部分を含む栓体を嵌着し、上記取付凹穴に上端を火口とする燃料噴射管の基端を嵌挿するとともに、栓体を貫通して一端を取付凹穴の穴底に極めて短かい切放し端として現わし、他端を燃料槽内に所労長さ垂下する糸を附設してなるガスライターの燃料供給装備。

2. ゴム等の軟質弾性材料よりなる厚板部分に、 めい針を介して糸を刺し通し、その一端を極めて 短かい切放し端とするとともに、この切放し端を 聞んで凹穴を有する簡体を中心を一致させて重合 し、かくして得た栓体を燃料槽上端に嵌着し、か つ簡体内に上端を火口とする燃料噴射管を嵌棒立 般して所要の燃料流路を形成するカスライターの 燃料供給装置の製造方法。

3. 発明の詳細な説明

この発明は、液化ガスを封入した使い捨てガス ライターの燃料供給装置及びその製造方法に関す るものである。

使い格でガスライターにおいては、製造費を低減する必要から各部は構造簡単でかつ加工手間も少ないことが望ましい。このため、燃料の噴出量をその都度調節する装置は省略されているのが普適であるが、このことは常に所定の噴出盤が保持されるように最初から作られていることが必要である。

上記一定の噴出量を得る方法として、燃料槽の 上海をゴム等の軟質弾性体の枠体で対止するとと もに、この枠体内を貫通して/本の糸を刺し通し、 燃料が、この糸の繊維中を通つて微量すつ燃料噴 射管に向つて出るようにすることが開発され、上 記栓体を形成するゴムの硬度、栓体の厚さ(高さ)、 糸の太さを予め各定めておくことにより、径便一 定の噴出量を有する製品を多質生産することがで きるようになつた。

5 3

上記、糸は栓体に圧接状態で取りつけられてい ることが必要であつて、この取付手段としてはぬ い針に糸を通して栓体に刺し渡し、その両端を栓 体の両面から所要長ずつ残して切断しておけばよ いのであるが、栓体の上面側つまり燃料噴射管に 連なる側の糸の長さは極めて短かいことが必要で ある。ところで、栓体の上面にはゴムの弾力性を 利用して燃料噴射管を弁機構とともに基端を圧入 して立設するための取付凹穴を設けておくのが普 通であつて、前配ぬい針を介して刺し通した糸の[°] 上端は取付四穴内にあるため、これを短かく切 断することが困嫌である。このため糸の一端に予 め結び目を作つて、その削分で切断しておき、こ の結び目が取付凹穴の穴底に接するまで引張りな がら刺し適すことが行われているが、この結び目 を作ることは、手間がかかるのみならず個人差も あり、又その部分の繊維が緊縮されて燃料の通過 を妨げるから、結び目の固さは極めてゆるく保持 されている必要がある。しかし刺し通したのちの

結び目の固さを各製品に一定にそろえることは不可能であるから噴出量にムラが生するのは止むを 得ないこととされていた。

これに対し、この発明においては、第1図に示 すよりに上面に取付凹穴を有する栓体!を、上下 面はぼ平面である原板部分2と中心に取付凹穴に 相当する径の透孔3を有する簡体4の二部分で作 り、この厚板部分4の中心に予め糸りをぬい針を 介して削し通し、その両端を所要長さに切断して おき、これに簡体を互に中心を一致させて重合 し、所要の栓体/を容易に形成することができる。 第2回、第3回はこのようにして作つた栓体/を 使用して相立てられたガスライターの要部を示し、 第2図においては燃料開閉柵構として通常のバネ 式パルブを用いた例を示し、ライター主体6の一 部に穿掘された凹部に嵌捕埋着された栓体/は、 予め糸なを捕引した軟質ゴムの厚板部分よと、主 体もにねじ込んだ簡体をとを重合して形成される。 その際簡体ものねじとみの調節によりゴム板部分 2の初期圧力調整ができる。簡体4の透孔3で形

成される取付凹穴中に上端を火口とする燃料の噴射管?を、その下端がパネ&により常時取付凹穴の穴底に圧接されるようにして取りつけ、これをライター主体 6 に中間部を棚支したシーソー状の操作杆タで昇降するように構成されている。

第3 図に示す実施例においては、ライター主体 6'に接着された全体/は同じく予め糸よを挿透 取付した摩板部分2に、中心に送孔3を有する簡体をを複合接滑して作られ、形成された取付凹穴に、別に下端隔盤し、下端より少しく上方に横孔 8'を開設した燃料噴射管7'を破神して形成されている。この横孔8'は常時は程体/の弾力により取付凹穴内面に圧接して対止されているが、燃料噴射管7'は操作杆9'を時計方向に回動させると、独作杆先端に押されて栓体/の弾件に抗して図のた方に傾倒させられるので、横孔8'にといる。

この発明は以上述べたように、両端を所製長さ

の切放し状態とした糸」を刺し通した軟質學性材料よりなる厚板部分2に、透孔3を有する簡体をを重合接着して形成された栓体/を有し、この透孔3で形成される取付凹穴中に下端に減算の燃料時別機構を有する燃料噴射管フ(2 /)を嵌插立設して組立てられており、構成極めて簡単で、しかも性能にバラツキのない製品を容易に製造することができる。

4. 図面の簡単な説明

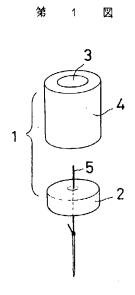
制/図はこの発明の製部である栓体を分解して 示す細菌型、縄3図はそれぞれこの発明 の装備を備えたガスライターの一例を示す製部断 面影明図である。

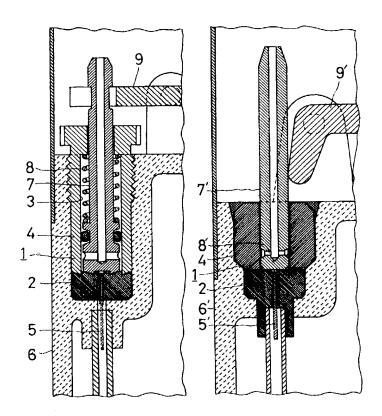
図中符号、/は発体、2は厚板部分、3は浅孔、
は筒体、5は糸、6,6/はライター主体、
フ,7/は燃料噴射管、8はバオ、8/は横孔、
タ,9/は操作杆を示す。

代理人 弁理士(8107)佐々木 清 隆(ほか2名)

第 2 図

第 3 図





PAT-NO:

JP356144335A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 56144335 A

TITLE:

FUEL SUPPLY DEVICE FOR GAS LIGHTER

AND MANUFACTURING

THEREOF

PUBN-DATE:

November 10, 1981

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

KITABAYASHI, SEIICHI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

KK MARUICHI SEISAKUSHO

N/A

KITABAYASHI SEIICHI

N/A

APPL-NO:

JP55047653

APPL-DATE: April 11, 1980

INT-CL (IPC): F23Q002/16, F23Q002/16, F23Q002/173

US-CL-CURRENT: 239/533.2

ABSTRACT:

PURPOSE: To simplify the arrangement and manufacture the products having uniform performance with ease by a fuel supply device wherein a cylindrical member with a through hole is placed above a thick platelike portion made of soft elastic material which includes thread penetrating therethrough, and then adhesively secured thereto.

CONSTITUTION: A cylindrical member 4 with a through hole 3 is placed above a thick platelike portion 2 made of soft elastic material which includes thread 5 having a predetermined length and penetrating therethrough, and then adhesively secured thereto. A fuel injet tube 7 is vertically fitted into the through hole 3. By so doing, it becomes possible to simplify the arrangement of a fuel supply device and also manufacture the products having uniform perfomance with ease.

COPYRIGHT: (C)1981, JPO& Japio